

令和2年3月13日発行 第333号 電話 77-2468 FAX 72-5522

江釣子地区人口	2月末
世帯数	4,782戸(+5)
男	5,841人(-1)
女	6,085人(+11)
合計	11,926人(+10)



新型コロナウイルス感染拡大防止対応期間は 3月31日まで延期になりました。



令和2年度以降の「えぶりこすず 桜まつり」 和賀川グリーンパークでの“まつり”は行いません



過去5回、えぶりこすず 桜まつりとして和賀川グリーンパークで行っていた“えぶりこすず 桜まつり”ですが、総括を理事会において協議した結果、観客対応等含め効率的ではないとの結論に至り、今後は事業名としては「えぶりこすず 桜まつり」として事業継続しますが、次のとおり事業規模を縮小します。

【実施する内容】



〇一斉清掃

他所から訪れた方にきれいな環境を供し、交流人口を増やすというのが当初の目的であり、続けることにします。各地区民の方にはご負担をおかけしますが、ご協力をお願いします。

- ・実施日 4月11日(土) 午前6時～午前7時
- ・区間等 各自治会昨年同様の区間を予定しております。



〇すずと桜並木ウォーキング

健康づくり組織と協力しながら、家慶のすず～佐野公園、和賀川桜並木間約5km程度の周遊コースを設定し実施します。

- ・実施日 4月25日(土) 午前10時～午前12時
- ※交流センターだよりで呼びかけます。



〇貸切バスの提供



各行政区ですずや桜並木を見学したいという要望があれば予算内での対応となりますが、バスでの送迎を考えていますので、江釣子地区交流センターまで、自治会あるいは団体で申し込んでください。(予算に制限があります。)

以上がまつりの取り組みです。

まつりを楽しみにしておられた方もいるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いします。



えぶりこフラワー会会員募集

～ 花いっぱい 笑顔のまち えぶりこ ～

えぶりこフラワー会は、平成11年のインターハイを機に設立し、花いっぱいのまちを目指し活動してきて、今年は21年目を迎えます。

主な活動としましては、和賀川グリーンパークの三角花壇の整備や県内外の研修、花いっぱい運動等を通して、会員との親睦を深めています。

江釣子地区にお住まいの方は、どなたでも加入できますので、お隣近所お誘い合わせのうえご加入いただければと思います。

♥ 1年間の活動内容 ♥

4月 えぶりこフラワー会総会

5月 花苗・培養土配布

6月 三角花壇植栽、会員研修、三角花壇管理作業

～8月 (草取り、水やり、花がら摘み等)

10月 三角花壇後片付け

【年会費】 500円

【申込み場所】 江釣子地区交流センター窓口

【問い合わせ】 江釣子地区交流センター

電話：77-2468 担当：片方広美



子どもは地域の宝

子ども110番の家 のぼり旗更新

このたび、地域教育力向上活動費補助金をいただき、防犯協会江釣子支部と協力し「子ども110番の家」ののぼり旗を一新しました。

子どもの安全、安心活動については、挨拶運動、見守り活動のほか通学路沿いにお店をかまえている方、日中在宅の方の皆さんの協力をいただき、地区内の37箇所を「110番の家」として地域を挙げて取り組んでいます。

数年前に設置したのぼり旗は風で裂けたり、日光にさらされ色褪せたりして更新が望まれていました。

今回、デザインも変えて分かりやすくしました。

また、「110番の家」について、防犯協会江釣子支部では街並みの様相が変わったりしていることから、新規の方を募るなど見直しを行っています。4月頃には小学校はじめ関係者にお知らせできるとのことです。

4月から新入学児童の登校が始まります。保護者の皆さん、児童に追い回しや声かけがあって不安になったなら「ここに駆け込みなさい」と教えてあげてください。



【一新したのぼり旗】

◆◆ 新型コロナウイルス感染症対策について ◆◆

交流センターの対応

報道でご存知のとおり、新型コロナウイルス感染症が広がっております。交流センターにおいても、市の方針をうけ、集会の自粛や貸館にあたって注意点を呼びかけ、ご理解、ご協力をいただいているところであります。

感染対策防止の重要な期間は、今月15日となっており、当センターとしても15日以降に延期した行事を実施する予定であります。

しかし、報道等によると落ち着いた様子は見えなく、日々感染者が増えているようです。

要請が解除されるのか、新たに追加の対応が示されるのか、分からない状況です。

緊急に行事の中止があった場合は、電話等で連絡しますので、ご理解の程よろしくをお願いします。

!

感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

流水でよく手をぬがした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

手の甲をのばすようにこすります。

指先・爪の間を急入りにこすります。

指の間を洗います。

親指と手のひらをねじり洗います。

手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる

マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用

鼻と口の両方を確実に覆う

ゴムひもを耳にかける

隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸
厚生労働省

厚労省 検索

お願いします

ミニギャラリー展示品の 情報をお寄せください

ミニギャラリーを始めて5年経ちますが、この頃展示の希望者が少なくなっているのが現状です。

ける方の情報をお寄せください。

展示品は、手芸作品、工芸品、模型、折紙等巾1.5m奥行1.1m高さ40cmの空間に入るもの又、パネル2面も利用できます。

過去の展示作品を例示します。

昨年は、江小、江中にも協力を呼び掛けて何とか継続することができました。

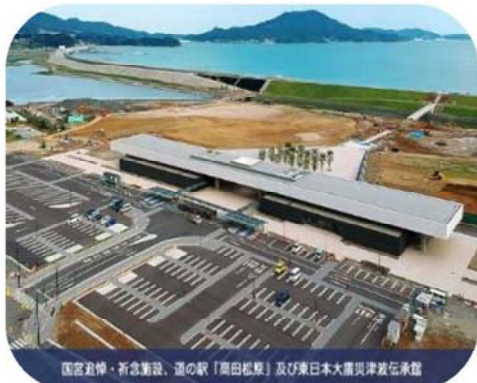
現状を交流センター運営委員会でも話し合っていたいただき交流の場は江釣子地区内と限らず北上市内からの展示も良いのではとの意見を頂きましたので、これからはそういう方向で進めていきます。地区内外問いませんので展示にご協力していただ

東日本大震災から9年

災害を風化させず語り継ぐことが

残したいもの
伝えたい事

【東日本津波伝承館の防潮堤】



「津波伝承館ホームページより」

「津波伝承館」付近の防潮堤や地盤の嵩上げは進捗しているのが目に見えますが、嵩上げされた高田地区の交通広場では、野球場やサッカー場などからなる高田松原津波復興記念公園が整備されていましたが復興に向けた事業の進捗状況を知ることができて復興の様子がよくわかりました。今後たくさんの人々が集まってにぎわう街（元のように）になってくれることを信じています。「津波伝承館」付近の造成された宅地は、戻る人が少ないのか個人住宅の建設は進んでいない（これから）と感じました。これは当市だけではなく震災にあった自治体共通の問題と言われます。

内陸部に住んでいる私たちにできること、それは「風化させるにはまだ早すぎる、災害を風化させず語り継ぐ」ことかと思います。

3月11日、東日本大震災から9年となりました。過日（しばらく前になりますが）、自治会長、公民館長、防災会役員及び自治振役員合同研修会で、釜石道～三陸自動車道を経由して大船渡市（気仙大工左官伝承館）、陸前高田市方面を視察する機会がありました。陸前高田市の「東日本大震災津波伝承館」を見学し、ガイダンスシアター、1～4ゾーンの分かれた映像による震災の事実、教訓復興等の説明あり、改めていのちを守ることの大切さを確認できました。「東日本大震災津波伝承館にて」



【合同研修参加者】

北上市みちづくり支援事業（江釣子地区）北上市認定外公衆用道路舗装工事

∞ 2区公民館入口道路完成 ∞

みちづくり支援事業として認められた2区公民館西側道路の舗装工事がこのたび、完成いたしました。2区自治会長の話では、側溝もでき道路幅も広くなり公民館や小学校に行くのが便利になったと地域の方から大変喜ばれているとのことでした。

【道路舗装工事前】



【道路舗装工事完成後】

